

科目番号 10

授業科目名： 英語文学	講義日： 12月 1日（土） 12月 8日（土）	単位数： 1単位	担当教員名： 遠藤 健一
			担当形態： 単独
科 目	教科に関する科目（中学校 英語）		
施行規則に定める科目区分	英米文学		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>「英語で書かれた近代以降の代表的な文学作品の理解（形式とテーマ、英語表現の特徴、文化的背景など）を通して、英語指導への応用について考える。」</p> <p>到達目標</p> <p>(1) 中学校の英語指導において必要な英語文学に関する基礎的知識について、理解したことの要点をまとめ自分の考えを伝えることができる。</p> <p>(2) 英語文学について学んだ事柄をどのように自分の英語指導に活かすことができるかについて具体的な提案をすることができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>英語を母語または公用語とする国と地域における代表的な文学について理解を深める。文学作品を通して多様な文化について学ぶ姿勢を身に付け、文学作品における英語表現に関して学ぶことによって英語表現力の向上をめざす。本授業では講義及び演習を通して、英語文学を英語指導に活かす具体的方法を学び、代表的な英語文学を読むこと、及び文学作品について話したり、書いたりすることによって英語運用能力を伸ばすことをねらう。</p>			
<p>授業計画（各回90分）</p> <p>第1回：ガイダンス（授業の概要と到達目標の理解；文学のジャンル；英語文学のメインストリーム）</p> <p>第2回： <i>Romeo and Juliet</i> (1595) を読む（授業の視角「若い二人に非はなかったのか？」）</p> <p>第3回： <i>Gulliver's Travels</i> (1726) を読む（授業の視角「なぜ日本人は好意的に描かれているのか？」）</p> <p>第4回： <i>Great Expectations</i> (1861) を読む（授業の視角「読ませるプロットと週刊誌での連載」）</p> <p>第5回： <i>Mrs Dalloway</i> (1925) を読む（授業の視角「見ず知らずの二人の生と死の交錯とは？」）</p> <p>第6回： <i>The Sound and the Fury</i> (1925) を読む（授業の視角「アメリカ南部の白人支配階級の崩壊を伝える Caddy と Caddie の一致」）</p> <p>第7回： <i>A Pale View of Hills</i> (1985) を読む（授業の視角「信頼できない語り手と記憶の捏造」）</p> <p>第8回：総括討議と試験</p>			
<p>テキスト：配付資料を用いる。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領解説外国語編』</p> <p>村野井仁（編）『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』（大修館書店）その他、開講時に指示する。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>到達目標 (1) 授業における課題及び記述式試験 50%</p>			

到達目標 (2) 授業における課題及び記述式試験 50%